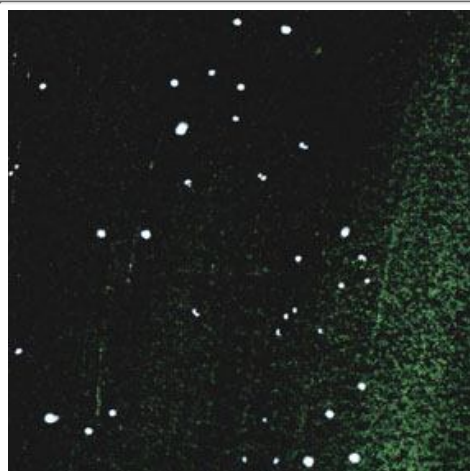


「日々の理科」(第2372号) 2021.-1.-9
水彩画教室「北極光の夜」
お茶の水女子大学附属小学校教諭
お茶の水女子大学サイエンス&エデュケーションセンター研究員
田中 千尋 Chihiro Tanaka

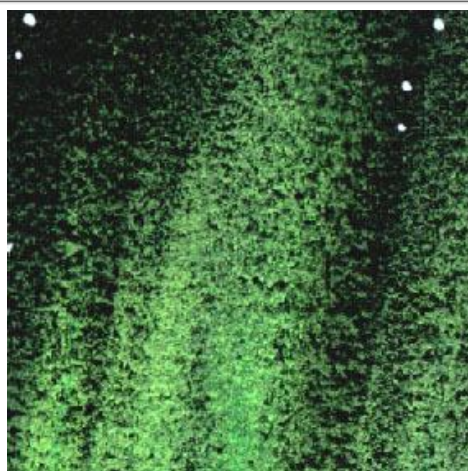
北半球で見られるオーロラを 英語では“Northern Lights”ドイツ語では“Nordlicht” スウェーデン語では“Norrsken”(ノルシェン)といいます いずれも「北の光」といった意味です 日本語では「北極光」といいますが この詩情豊かな表現は あまり使われません 凍てついた針葉樹の丘の 更に北の空を舞う幻想的な光は「北極光」の名がふさわしいように思います



これが完成した絵です



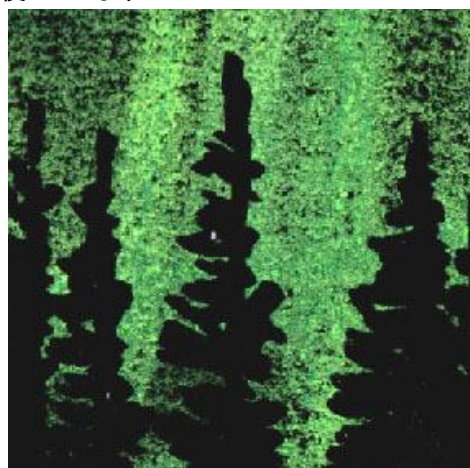
1、今回は白い画用紙ではなく 黒いボール紙を使いました 恒星は写真用の白ペンを使っています



2、主題のオーロラは 緑のパステルを指で上方に伸ばして表現しています



3、特に明るい部分は 白のパステルも使って 濃淡をつけています



4、針葉樹(イトスギ)は オーロラの手前にシルエットで描きます



5、小屋も完全にシルエットで 窓の明かりだけ 黄色のパステルです



6、小屋の灯火の反映も効果的です これもパステルを伸ばして表現します